

園数毎の費用の試算について

1 園数毎の費用の試算の前提の比較

項目	別紙① (第9回小金井市立保育園の在り方検討委員会 資料70より抜粋)	別紙② (令和7年第3回定例会 (厚生文教委員会) 提出資料より抜粋)
試算にあたっての前提	<p>・財政効果を測るための試算ではなく、園数により費用の違いがあることを示す資料として作成</p> <p>※ 預かる児童の状況により変動する会計年度任用職員の人事費並びに長寿命化・大規模修繕実施時の園舎移転及び仮園舎設置等の費用は含めていない。</p>	
受け入れ児童数	く (79) わ (81) 小 (114※減なし) さ (79) け(81)	各園 <u>70人</u> 定員
正規職員数	保育士・看護師・栄養士の合計数	保育士・看護師・栄養士・ <u>給食調理</u> の合計数
単年度歳出		
人件費	正規職員数に令和6年年間人件費の職員単価で算出 (8,800千円)	正規職員数に <u>令和7年</u> 年間人件費の職員単価で算出 (<u>9,300千円</u>)
公立運営費	令和7年度保育課当初予算額 (公立保育園の運営に要する経費) から人件費等を除き算出	
公立維持費	公立維持費 (令和7年度保育課当初予算額 (公立保育園の維持管理に要する経費))	
民間施設運営経費	令和5年度決算額をベースに作成	<u>令和6年度</u> 決算額をベースに作成
単年度歳入	令和5年度決算額をベースに作成	<u>令和6年度</u> 決算額をベースに作成

2 別紙②を基にした園数毎の費用試算

	5園維持			3園規模		
	現行	役割対応	役割対応 +定員減	現行	役割対応	役割対応 +定員減
受け入れ児童数	592 人	592人	350 人	366 人	366人	210 人
正規職員数	118 人	161人	147 人	74 人	101人	91 人
【A】 単年度歳出 (5園維持(現行)との差)	—	399,900	895,294	110,849	361,949	672,225
【B】 単年度歳入 (5園維持(現行)との差)	—	0	427,480	355,131	355,131	628,589
【C】 (【A】 - 【B】) 一般財源負担ベース (5園維持(現行)との差)	—	399,900	467,815	▲ 244,282	6,818	43,636

園数毎の費用の試算（概算）

【試算にあたっての前提】

- ・財政効果を測るための試算ではなく、園数により費用の違いがあることを示す資料として作成
- ※ 預かる児童の状況により変動する会計年度任用職員の入件費や、長寿命化・大規模修繕実施時の園舎移転や仮園舎設置等の費用は含めていない。

【各項目の考え方】（「資料30 保育定員数及び本市の財政状況等について」の単価等に基づき試算）

[受け入れ児童数]：「1 園数毎の職員配置の試算」表の定員から値を引用

[正規職員数]：「1 園数毎の職員配置の試算」表の職員数から値を引用

[単年度歳出]：以下のそれぞれの項目の値より算出

- ・入件費（正規職員数にR6年間入件費（市行政経営担当算出）の職員単価で算出）
- ・公立運営費（R7保育課当初予算額（公立保育園の運営に要する経費）から入件費等を除き算出）
- ・公立維持費（R7保育課当初予算額（公立保育園の維持管理に要する経費））
- ・民間施設運営経費（R5決算額をベースに、「公立保育園の児童数（認可定員上限）」×「私立保育園に在籍した場合の児童一人当たりの経費」で算出）

[単年度歳入]：R5決算額をベースに、公立、私立それぞれ児童一人当たりの歳入単価を算出し試算 ※ 公立園の定員が減った分の公立園児童全員が民間園に在籍する想定で試算

[長寿命化・大規模修繕費用]：R12までの公共施設個別施設計画に基づき試算

くりのみ保育園：く わかたけ保育園：わ 小金井保育園：小 さくら保育園：さ けやき保育園：け	5園維持	4園規模 (く・わ・小・け)	3園規模 (わ・小・け)	2園規模 (小・け)
---	------	-------------------	-----------------	---------------

受け入れ児童数

段階的縮小前認可定員	592人	479人	366人	254人
受け入れ定員減（③）の場合	434人	355人	276人	195人

正規職員数

①現行	103人	84人	65人	46人
②役割対応	133人	108人	83人	58人
③役割対応+定員減	116人	94人	72人	50人

単年度歳出【A】

①現行	1,133,709,000	1,214,383,502	1,295,058,003	1,355,426,780
②役割対応	1,397,709,000	1,425,583,502	1,453,458,003	1,461,026,780
③役割対応+定員減	1,639,564,744	1,609,601,934	1,579,639,123	1,536,803,292

単年度歳入【B】

①現行	219,249,000	369,489,096	519,729,191	668,639,728
②役割対応	219,249,000	369,489,096	519,729,191	668,639,728
③役割対応+定員減	487,835,003	580,278,110	672,721,218	768,934,502

一般財源負担ベース【A】-【B】 [国・都負担及び保育料相当相殺後]

①現行	914,460,000	844,894,406	775,328,812	686,787,052
①の5園の場合の費用との差	0	▲ 69,565,594	▲ 139,131,188	▲ 227,672,948
②役割対応	1,178,460,000	1,056,094,406	933,728,812	792,387,052
①の5園の場合の費用との差	264,000,000	141,634,406	19,268,812	▲ 122,072,948
③役割対応+定員減	1,151,729,741	1,029,323,823	906,917,905	767,868,791
①の5園の場合の費用との差	237,269,741	114,863,823	▲ 7,542,095	▲ 146,591,209
長寿命化・大規模修繕費用（※）	423,362,400	423,362,400	374,157,600	190,680,000

※ さくら保育園、くりのみ保育園（S43年建設棟）、けやき保育園は、公共施設個別施設計画期間において改修等が計画されていない。

小金井市立保育園の在り方に関する方針に係る費用試算について

1 正規職員体制について

(単位:人)

園名			①現行			②役割対応			③役割対応+定員減		
			5園維持	4園規模	3園規模	5園維持	4園規模	3園規模	5園維持	4園規模	3園規模
くりのみ保育園	保育士	通常保育	17	17		19	19		17	17	
		役割対応				6	6		6	6	
	看護師		1	1		1	1		1	1	
	栄養士		1	1		1	1		1	1	
わかたけ保育園	保育士	通常保育	17	17	17	19	19	19	17	17	17
		役割対応				6	6	6	6	6	6
	看護師		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	栄養士		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	給食調理		3	3	3	3	3	3	3	3	3
小金井保育園	保育士	通常保育	17	17	17	19	19	19	17	17	17
		一時保育	1	1	1	1	1	1	2	2	2
		役割対応				6	6	6	6	6	6
	看護師		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	栄養士		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	給食調理		3	3	3	3	3	3	3	3	3
さくら保育園	保育士	通常保育	17			19			17		
		役割対応				6			6		
	看護師		1			1			1		
	栄養士		1			1			1		
けやき保育園	保育士	通常保育	23	23	23	25	25	25	17	17	17
		一時保育	1	1	1	1	1	1	2	2	2
		役割対応				6	6	6	6	6	6
	看護師	現行業務	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		役割対応				2	2	2	2	2	2
	栄養士	現行業務	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		役割対応				1	1	1	1	1	1
計			118	96	74	161	131	101	147	119	91

※欠員が無いと想定した場合の正規職員数（一般任期付職員を含む。）

2 市立保育園 園数毎の費用について

くりのみ保育園：く けやき保育園：け	5園維持	4園規模 (く・わ・小・け)	3園規模 (わ・小・け)
受け入れ児童数			
段階的縮小前認可定員	592 人	479 人	366 人
受け入れ定員減（③）の場合	350 人	280 人	210 人
正規職員数			
①現行	118 人	96 人	74 人
②役割対応	161 人	131 人	101 人
③役割対応+定員減	147 人	119 人	91 人

(単位：千円)

単年度経費【A】

①現行	1,324,709	1,380,133	1,435,558
②役割対応	1,724,609	1,705,633	1,686,658
③役割対応+定員減	2,220,003	2,108,468	1,996,934

内 訳	人件費			
	①現行	1,097,400	892,800	688,200
	②役割対応	1,497,300	1,218,300	939,300
	③役割対応+定員減	1,367,100	1,106,700	846,300
	物件費	227,309	195,217	163,126
	公立運営費	143,371	123,130	102,889
	公立維持管理費	83,938	72,087	60,237
	民間施設運営経費（公立園の児童を民間園で預かることになった場合に要する経費）			
	①現行	0	292,116	584,232
	②役割対応	0	292,116	584,232
	③役割対応+定員減	625,594	806,551	987,508

単年度歳入【B】

①現行	199,713	377,278	554,844
②役割対応	199,713	377,278	554,844
③役割対応+定員減	627,193	727,746	828,302

内 訳	公立運営費に対する歳入（国庫補助+都補助+保育料等）			
	①現行	199,713	161,592	123,471
	②役割対応	199,713	161,592	123,471
	③役割対応+定員減	165,280	132,223	99,167
	民間施設運営経費に対する歳入（国庫補助+都補助+保育料等）			
	①現行	0	215,686	431,373
	②役割対応	0	215,686	431,373
	③役割対応+定員減	461,913	595,523	729,135

一般財源負担ベース【A】-【B】【国・都負担及び保育料相当相殺後】

①現行	1,124,996	1,002,855	880,714
①の5園の場合の費用との差	0	▲ 122,141	▲ 244,282
②役割対応	1,524,896	1,328,355	1,131,814
①の5園の場合の費用との差	399,900	203,359	6,818
③役割対応+定員減	1,592,811	1,380,722	1,168,632
①の5園の場合の費用との差	467,815	255,726	43,636

費用試算に当たっての前提

- ・財政効果を測るために試算ではなく、園数により費用の違いがあることを示す資料として作成
- ※ 預かる児童の状況により変動する会計年度任用職員の入件費並びに長寿命化・大規模修繕実施時の園舎移転及び仮園舎設置等の費用は含めていない。
- ・年度毎の費用については、認可定員の変更が終了する令和14年までの費用（市立保育園3園の場合）を試算

各項目の考え方

【受け入れ児童数（受け入れ定員減の場合）】：各園70人定員として算出

【認可定員】：「小金井市立保育園の在り方に関する方針」中の定員推移を基に試算

【正規職員数】：「1 正規職員体制について」の職員数から値を基に試算

【単年度歳出】：以下のそれぞれの項目の値より算出

- ・人件費（正規職員数に令和7年年間人件費（市行政経営担当算出）の職員単価で算出）
- ・公立運営費（令和7年度保育課当初予算額（公立保育園の運営に要する経費）から人件費等を除き算出）
- ・公立維持費（令和7年度保育課当初予算額（公立保育園の維持管理に要する経費）
- ・民間施設運営経費（令和6年度決算額をベースに、「公立保育園の児童数（認可定員上限）」×「私立保育園に在籍した場合の児童一人当たりの経費」で算出）

【単年度歳入】：令和6年度決算額をベースに、公立、私立それぞれ児童一人当たりの歳入単価を算出し試算 ※ 公立園の定員が減った分の公立園児童全員が民間園に在籍する想定で試算